

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和5年 10月 31日

事業所名 学び舎with 塩尻教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		入り口に若干の段差がありますが教室内はスムーズに移動ができます。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		翌日のミーティング時にパートも含めた職員で反省し、次回に活かせるようにしております。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている				開所1年のため、今回が初めての評価表になります。いただいたご意見や教室内の議論内容を基に今後業務改善、公表を行ってまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価の機会は現状ないため、必要に応じて検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に専門背、資質向上のため研修を設けております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		研修により学んだ世界基準のアセスメントツールを導入しております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		極端な活動プログラムにならないよう、均等に取り組めるように計画をしております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			課題はそれぞれで大きく変わりませんが、お休みの日は長く関わられるため、活動以外の時間も大切な支援の時間として捉え関わらせていただいております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		お子様の状況に応じて適宜組み合わせをしながら行っております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			

護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		当月の概要や翌月の予定など月末にお配りしたり、InstagramやHPにてお知らせをしたりしております。	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域向けのイベントを実施いたしました。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		マニュアルの周知は十分ではありませんが、緊急時連絡先を各ご家庭にお聞きし作成しております。また、避難訓練を実施し、防災訓練にも取り組んでおります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に委員会を開いております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		教室内で検討を行った上で保護者の方に説明を行い、同意をいただいで記載をしております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			医師の指示書は受け取っていませんが、家庭に必ずお聞きするようしております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			